

## 鬼滅の刃 第3期 第2話

タイトル: 縁吉零式

キャラ リスト:

竈門 炭治郎、時透 無一郎、小鉄、鋼鐵塚 螢、カラス

Japanese script from Netflix subtitles (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

---

小鉄           どっか行けよ！何があっても鍵は渡さない！使い方も、絶対教えねえからな！

炭治郎       (考え) なんだろう...もしかして、もめてるのかな？

              (考え) どうしよう？盗み聞きはよくない！だけど、もめ事だったら仲裁しないと...

              ハッ...

小鉄           うっ！

炭治郎       あっ！

小鉄           ぐっ...ううっ...

炭治郎       やめろ～！

小鉄           あっ...

炭治郎       何してるんだ！手を放せ！

時透          声がとてもうるさい...誰？

炭治郎       子供相手に何してるんだ！手を...ぐっ！

              (考え) びくともしない！

              (考え) 俺よりも細い腕、小さい体なのに！

時透          君が手を放しなよ。

炭治郎      ぐおっ！

ぐっ…。

時透      すごく弱いね。

炭治郎      オエツ…。

時透      よく鬼殺隊に入れたな。

ん？

その箱、変な感じがする。鬼の気配かな。

何が入ってるの？それ…。

炭治郎      くっ…。

時透      あっ…。

炭治郎      触るな！

時透      ああ…えっ？

(考え) 取られた。

炭治郎      大丈夫？

小鉄      は…放せよ！

炭治郎      目が回っているだろう？危ないよ！

小鉄      あっち行け！

ただ…誰にも鍵は渡さない。拷問されたって絶対に！これはもう次で壊れる！

時透      拷問の訓練受けてるの？

炭治郎、小鉄      あっ…。

時透 大人だってほとんど耐えられないのに、君は無理だよ。度を越えて頭が悪い子みたいだね。

壊れるから何？また作ったら？君がそうやってくだらないことをぐだぐだぐだ言ってる間に、何人死ぬと思っているわけ？

小鉄 あっ…。

炭治郎 ハッ…。

時透 柱の邪魔をするっていうのはそういうことだよ。柱の時間と君たちの時間は全く価値が違う。少し考えれば分かるよね？

小鉄 うっ…。

時透 刀鍛冶は戦えない。

小鉄 ううっ…。

時透 人の命を救えない。

小鉄 んっ…。

時透 武器を作るしか能がないから。

小鉄 ぐっ…。

炭治郎 くっ…。

時透 ほら、鍵。自分の立場をわきまえて行動しなよ。赤ん坊じゃないんだから。

小鉄 あっ…。

時透 何してるの？

炭治郎 こう…何かこう…すごく嫌！なんだろう？配慮かな！配慮が欠けていて残酷です！

時透 この程度が残酷？君…。

炭治郎 正しいです！あなたの言ってることはおおむね正しいんだろうけど、間違っていないんだろうけど…刀鍛冶は重要で、大事な仕事です！

剣士とは別の、すごい技術を持った人たちだ！だって実際、刀を打ってもらえなかったら、俺たち何もできないですよ？

剣士と刀鍛冶は、お互いがお互いを必要としています！戦っているのはどちらも同じです！俺たちはそれぞれの場所で日々戦って…！

時透 悪いけど...くだらない話につきあってる暇、ないんだよね。

炭治郎 あっ...。

ぐっ！

小鉄 どうしよう...俺一人で下まで運べるかな？

鋼鐵塚 いや、俺が運ぶ。もう少しして起きなきゃ...。

炭治郎 んっ...。

鋼鐵塚 ん？まぶたがピクピクしました！こいつ起きる！

じゃあな！

小鉄 えっ？ああ！

あっ...大丈夫ですか？急に起きないほうが...。

炭治郎 鋼鐵塚さんいた？

小鉄 えっ！

炭治郎 今、ここにいなかった？

小鉄 あっ、いえ！いなかったですよ？ピュピュ～！

炭治郎 そうか...気のせいかな...。

あっ...柱の人は？

小鉄 鍵を渡したので、行ってしまいました。

炭治郎 渡しちゃったのか...渡すしかない感じだったけど...あっ、いや、事情もよく分からない俺が、ゴチャゴチャ言うことじゃないけど...。

小鉄 いえ、そんな！

うれしかったです。見ず知らずの俺をかばってくれて...ありがとうございました！

炭治郎 いやいや、役に立てず...。

ここに立っていた人...というか...。

小鉄 あれは絡繰人形です。

炭治郎 絡繰人形…。

小鉄 さっきの人に連れていかれました。鍵は、あの人形を動かすために必要だったんです。

炭治郎 大切な人形なんだね。

小鉄 うん…。

炭治郎 でも、どうしてそれを柱が？

小鉄 あれは、特別なんです。

あの絡繰人形は、人間を凌駕力を持っていて、百八つの動きができます。戦闘訓練に利用できるんです。

炭治郎 そのために…。

小鉄 でも、あれはもう…。

炭治郎 あっ…。

炭治郎、小鉄 あっ！

小鉄 うっ…。

炭治郎 なんだ？

小鉄 さっきの人がもう…。

こっちです！

炭治郎 柱相手に…すごい！

小鉄 あれが、俺の先祖が作った戦闘用絡繰人形…縁壺零式です。

炭治郎 手が…六本あるのはなんで？

小鉄 腕ですか？父の話によると、あの人形の原型となったのは実在した剣士だったらしいんですけど、腕を六本にしなければ、その剣士の動きを再現できなかったからだそうです。

炭治郎 ああ…。

(考え) あの顔…知ってる気がするけど、分からない。

その剣士って誰？どこで何してた人？

小鉄 あっ、すみません。俺もあまり詳しくは...戦国の世の話なので...

炭治郎 せ...戦国？そんな三百年以上、昔なんだ...

小鉄 そう聞いています。

炭治郎 そんな長い間壊れてないの、あの人形？

小鉄 すごい技術なので、今の俺たちでも追いつかないんです。

壊れてしまったら...もう直せない。

炭治郎 ハッ...

小鉄 親父が急に死んじゃって、兄弟もいない。俺がちゃんとやらなきゃいけないのに...刀にも、絡繰にも才能ないから...

炭治郎 それであんなに...そうか、そうか...

あの人、すごいな...俺とそんなに年も変わらないのに...柱で、才能があって...

カラス ソリヤア当然ヨ！

炭治郎、小鉄 ん？

カラス アノ子ハ日ノ呼吸ノ使イ手ノ子孫ダカラネ？

アノ子ハ天才ナノヨ！アンタタチトハ次元ガ違ウノヨ？ホホホホホ！

炭治郎 時透君の鴉かい？日の呼吸って、始まりの呼吸の...あの子はそんなにすごい人なのか...

カラス フフン...

炭治郎 でも日の呼吸じゃないんだね、使うの。

カラス アッ！

炭治郎 あああああっ！

カラス 黙ンナサイヨ！目ン玉ホジクルワヨ！

炭治郎 ハッ...思い出した！夢だ！俺、あの人を夢で見た！

カラス ハア～？バッカジャナイノ、アンタ！コノ里ニ来タコトアンノ？非現実的スギテ笑エルワ！

炭治郎 うううっ…。

カラス 戦国時代ノ武士ト知り合イナワケ？アンタ何歳ヨ！ケッ！

炭治郎 なんかごめん…俺、おかしいよね？

小鉄 いえいえ！

それは、記憶の遺伝じゃないですか？

うちの里ではよく言われることです。受け継がれていくのは姿形だけではない。生き物は、記憶も遺伝する。

炭治郎 えー…。

小鉄 あなたが見た夢は、きつとご先祖様の記憶なんですよ！

カラス 非現実的！非現実的！

炭治郎 優しいね。ありがとう！

カラス ケッ！

炭治郎 俺、炭治郎。君の名前は？

小鉄 俺は小鉄です。意地の悪い雌鴉なんて相手にしなくていいですよ。

カラス ギャッ！

小鉄 あっ…。

炭治郎 あっ…。

ハッ…鎧が！

小鉄 ぐっ…ううっ！

炭治郎 あっ…小鉄君！

炭治郎 小鉄君！小鉄君！見つけるよ？俺は鼻が利くから。

今ちょっと調子が悪いけれども。

こっちだと思うんだけど...

ん？

小鉄君！全力で登ってるなあ、小鉄君！

俺にできることがあれば手伝うよ。人形のこと諦めちゃダメだ！

君には未来がある！

小鉄 あっ...

炭治郎 十年後二十年後の自分のためにも、今頑張らないと！今できないことも、いつかできるようになるから！

小鉄 ならないよ...自分で自分がダメなヤツだって分かるもん。俺の代で...俺のせいで全部終わらだよ！

あっ...

えっ？

あいたっ！

炭治郎 なげやりになってはいけない。自分のことをそんなふうには言わないでほしいですわ。

小鉄 (考え) 音もなく来てた...これが剣士...

炭治郎 自分にできなくても、必ず他の誰かが引き継いでくれる。次につなぐための努力をしなければならぬ。

君にできなくても、君の子供や孫ならできるかもしれないだろう？

小鉄 ハッ...

炭治郎 俺は鬼舞辻無惨を倒したいと思っているけれど...鬼になった妹を助けたいと思っているけれど...志半ばで死ぬかもしれない。

小鉄 ハッ...

炭治郎 でも必ず、誰かがやり遂げてくれると信じてる。俺たちがつないでもらった命で、上弦の鬼を倒したように...俺たちがつないだ命が、いつか必ず、鬼舞辻を倒してくれるはずだから！

小鉄 ハツ…。

あつ…。

炭治郎 一緒に頑張ろう！

小鉄 あつ…うん…。

俺、人形が壊れるの見たくなかったけど…決心つけるよ。戦闘訓練は夜までかかるはずだから、心の準備して見届ける…ちゃんと。

炭治郎 ああ…！

炭治郎 へえ～？小鉄君十歳か～！

小鉄 うん。

炭治郎 俺の弟は…。

炭治郎、小鉄 あっ！

炭治郎 えっ？終わったんですか？

時透 終わった。いい修行になったよ。

誰だっけ…あつ、そうか。俺の刀折れちゃったから…

炭治郎、小鉄 あっ！

時透 … この刀、もらっていくね。

小鉄 あつ…ぐっ！

炭治郎 小鉄君！

あつ…。

時透 それ、処分しといて。

炭治郎 (考え) 悪意のにおいがしない…わざとやってるわけじゃないんだろうな…。

(考え) でもなあ…

カラス フンッ！

炭治郎 (考え) ... あの鴉は全力で悪意あるな。すごい下に見てる、俺を。

あっ...小鉄君！

ハッ...。

小鉄君...確認しよう...まだ動くかどうか。

小鉄 あっ...。

炭治郎 うん。

小鉄 動かない。やっぱりもう...。

炭治郎、小鉄 あっ！

炭治郎 やった！動いたね、小鉄君！よかった...。

小鉄 そうですね、炭治郎さん。

これで修行して、あの澄ました顔のクソガキよりも絶対に強くなってくださいね！全力で協力、しますので！

炭治郎 (考え) えっ？今からかな？

わああああ！

炭治郎 ぐっ...うっ！

ハッ！

うおお～！死んでしまう！腕六本はきつい！

小鉄 腕は五本ですよ！あのクソガキに一本壊されたので、人形の機能は落ちてます！

炭治郎さん、強くなってください！そしてヤツにこう言うんです。

「その程度か？ゴミカスが！」

炭治郎 えっ？

小鉄 「髪長すぎなんだよ。切れ！昆布頭！」

「チビ。不細工の短足！」

「切腹しろ。恥知らず！」

炭治郎 いや！小鉄さん！それはちょっと...！

小鉄 打ち首獄門のほうがいいですかね？

炭治郎 いや、違う！そこまでは言えない！

小鉄 言うんです！

炭治郎 いや！

小鉄 言ってくださいよ！ねえ～！

炭治郎 あっ...。

(考え) それは言わないにしても...時透君はすごかった。俺よりも小柄で、年下の子なのに...。

(考え) 負けてられないぞ。俺も、もっと強くなりたいと！

くっ！うっ...。

ぐうっ！うっ...うう...。

小鉄 炭治郎さん！この程度で死んでるようじゃカスですよ！頑張ってください！もう一度言います！顔上げて！

炭治郎 ぐっ...。

小鉄 癖で動いてるんですよ、炭治郎さん、あなた。

炭治郎 ハッ...。

小鉄 相手の動きを見てから判断して動いてるんじゃないんだ。だからダメなんですよ！分かります？

要は基礎がなってない。本当に今までよく生きてこられましたね、鬼殺隊で！ギリギリですよ、全てが！俺はあなたの弱いところを徹底的にたたきますから、俺の言ったことができるようになるまで、食べ物あげませんから！

炭治郎 ああ...はい...。

炭治郎 だあっ！

小鉄 炭治郎さん遅い！全然ダメ！

人形が持っているのが素振り棒じゃなきゃ死んでますよ！しっかりして！

炭治郎 ぐっ…。

小鉄 今日で五日目ですよ！明日からは人形に、刀持たせますからね！

炭治郎 いや、素振り棒でも死ぬよ、これ！し…死ぬる！

小鉄 今日もメシ抜きです！

炭治郎 (叙事) はあああ…分析力高めの小鉄さん！

(叙事) しかし、剣術の教え手としてはド素人！どのくらいが人間の命の限界かご存じないため…訓練がエグかった！言われたとおりにできなければ、水も食料も与えないという暴挙！

(叙事) 水を飲まなければ人間は三日ほどで真面目に死ぬ。

小鉄 ふんっ！

炭治郎 (叙事) 無知ゆえの…純粹なる暴挙！

(叙事) 途中、雨が降ったため命はつながったが…。

はあああ！

炭治郎 (叙事) 恐ろしいほどの運動量の中、ほぼ絶水、絶食、絶眠…。

ああ…。

(叙事) 俺、三途の川を渡りかける。

(叙事) なんとも言えぬいい気持ちで橋の上を歩いていたが…空腹でめまいを起こし…川に落下。

(叙事) 川の中は暗く…重たかったが…何やら温かい人の手に、もぎもぎともまれているようだった。

(叙事) ふと水底を見ると、何かが光っていたので、もぎもぎされつつ、つかみに行った。

(叙事) 不思議なことに、この光る石は、水の中でもにおいがした。

ハッ！

(考え) なんだ？このにおいは...隙の糸とは違うにおい！

ハッ！

(考え) 左側頭部！首！右胸！左脇腹！

(考え) 右もも...右肩！

ハッ...。

(考え) 来る！

ぐっ！

ぐあっ...。

小鉄 一撃入りましたね、炭治郎さん！シヨボすぎて、人形びくともしてないですけど！

食べ物、あげましょう！

炭治郎 おにぎりと梅干し、お茶は高級玉露で！

うめえ～！

炭治郎 (考え) よし...よし！分かるぞ、動きが！

(考え) 前よりもずっとよく分かる！体力も戻ってついていける！

(考え) においで、相手が狙ってくる場所が分かるようになった！

(考え) このにおいは、隙の糸よりも早い段階で来る！

(考え) よし！入る！渾身の一撃！

(考え) あっ...でも壊れたら...。

小鉄 斬って！

炭治郎 ハッ…。

小鉄 壊れてもいい！絶対、俺が直すから！

炭治郎 ハッ！

小鉄 (考え) 炭治郎さん、人がよすぎる！

(考え) ダメだよ、そこでためらったら！

(考え) でも俺は、そんな炭治郎さんだからこそ、死なないでほしい！

(考え) 誰よりも、強くなってほしい！

炭治郎 ぐうっ！

あいだっ！

小鉄 炭治郎さん！大丈夫ですか？

炭治郎 あいだだ…ご…ごめん、借りた刀、折れちゃった…。

小鉄 いいんですよ、そんなの！

ん？

炭治郎、小鉄 あっ！

炭治郎 なんか出た！こここ…小鉄君、なんか出た！何これ！

小鉄 いやいやいや！分からないです、俺も！

炭治郎、小鉄 ハッ…。

小鉄 为什么呢、これ？少なくとも、三百年以上前の刀ですよ？

炭治郎 ハッ…。